

磐田北小学校新たな学校づくり検討会議事録

■第1回 磐田北小学校新たな学校づくり検討会

1 日 時 令和8年3月8日（日） 10時～12時

2 場 所 見付交流センター2階 大会議室

3 出席者 （委員）

亀井暁子委員（会長）、小出信幸委員、齊木千尋委員、福田花緒理委員、
青島大委員、林浩巳委員、八木義弘委員（副会長）、小杉泰久委員、
寺田和芳委員、鈴木きよみ委員、渡瀬康人委員、飯田佳一委員、中西仁委員、
青島正浩委員、大橋剛委員、名倉康二委員、吉村康宏委員、河合玲子委員、
鈴木優里加委員、青島美子委員、大橋弘明委員、永島正巳委員

欠席 金子貴正委員

（事務局）

教育長、自治デザイン課長、幼児教育保育課長、学校教育課長、学校給食課
長、放課後活動課長、文化財課長、学校づくり整備課長、同参事、同課長補
佐、同担当職員

4 内容

（1）委嘱状交付 教育長より代表で手渡し

（2）委員自己紹介

（3）開会

（4）教育長あいさつ

（5）検討会の目的 事務局より

現在の磐田北小学校の校舎と体育館は、昭和43年度から46年度に建設され、経過年数が55年程度と老朽化率は、市内公立学校の中で最も高く、年々老朽化による修繕箇所が増えている状態です。屋上防水改修工事やトイレ改修工事など、部分的ではありますが、雨漏り対策やトイレの洋式化、空調設置により、学習環境の改善も図っておりますが、内外装材や給排水設備の劣化は著しい状況です。

そのような状況のため、今後、さらなる少子高齢化と高度情報化等の社会状況への対応も見据え、令和6年12月3日に、見付地区地域づくり協議会長 林様、磐田市自治会

連合会見付地区長 小杉様を始めとする皆様より「磐田北小学校・見付交流センター建て替え」の要望書が市長に提出されました。その要望書を受け、今回、磐田北小学校等整備基本構想・基本計画の策定に向け、地域・保護者の皆様や専門家等の意見を反映させるため、要領を制定し、磐田北小学校新たな学校づくり検討会を設置しました。

検討会では、他の公共施設との複合化も視野に学校の基本的な運営や施設の規模や機能等の基本構想・基本計画を検討し、組織としては、別紙のとおり学識経験者、保護者や地域、教職員の代表者等の 25 人以内としています。なお、本検討会は、磐田市審議会等の設置及び運営に関する指針により、原則として公開いたします。

(6) 会長及び副会長の互選

事務局：会長副会長の選出を行いたいと思います。検討会要綱の第4条に「会長及び副会長各1人を置く」「委員の互選により定める」とありますが、いかがいたしましょうか。

委員：事務局の方で何かお考えがあればお聞きし、皆さんが良いということであればその案でお願いしたいと思います。

事務局：会長には、まちづくりと学校が専門分野の静岡文化芸術大学の亀井教授、副会長には、見付地区地域づくり協議会の八木会長代行にお願いしたらと考えますが、いかがでしょうか。

委員全員：異議なし

事務局：それではお二人にお願いしたいと思います。会長に今後の議事の進行をお願いいたします。

会長：只今ご指名に上がりました。建築の設計が専門ですが、それをまちづくりや教育環境の観点で進めているところもあり、今回お呼びいただいたと存じています。皆様の貴重なご意見を頂戴したいと思いますので、よろしく願いいたします。

(7) 磐田市のめざす教育について 事務局より

事務局より説明。

会長：何か質問やご意見があればお願いします。

委員：以前、磐田北小学校についてはC型で決定していることを確認していると思われます。検討ではなく確認の上で進めていくのがよいのではないのでしょうか。

事務局：この検討会で再確認とし、C型で進めていきます。

(8) 磐田北小学校及び見付地区の現状について

事務局より説明。

<質疑応答>

会 長：何か質問やご意見があればお願いします。

委員全員：なし

(9) 検討会の進め方について

事務局より説明。

<質疑応答>

会 長：何か質問やご意見があればお願いします。

委 員：複合化について当初よりお聞きしていたより早い時期から検討するようになっていられると思いますが、その後の土地利用計画に直接かかわることから、このような進め方となっているのでしょうか。見付交流センターには利用者が数多くいるため、見付交流センター利用者へのヒアリングや協議が必要になると思いますが、最初から議題に出てきて時間的な余裕はあるのでしょうか。また、複合化の事例施設を視察し、実際に見て直接話を聞くことも必要であると考えていますが、こちらについても時間的な余裕があるのか気になりました。

事務局：物理的に施設を一体化することだけでなく、隣接することによるメリット・デメリットもあると考えられるため、そのような視点からも幅広く検討していただきたいと思います。先ほど小中一体の形態についても話題に挙がりましたが、一体とすると、一つの学校に統合しなければならないという印象を持たれやすい面もあります。そのため、まずは状況や条件を整理した上で、施設の連携の在り方などについても検討していくことが重要ではないかと考えています。皆様から効果的な考え方やさまざまなご意見を早い段階からいただきながら、検討を進めていきたいと思います。また、見学会や視察についても、近隣で参考となる事例があれば、今後検討していきたいと考えています。

委 員：今までと今回の学校計画で大きく違うのは敷地に遺跡があるという点であり、遺跡の埋設場所により状況がさまざまに変わってくると思います。遺跡調査計画について、令和8年度下半期頃から調査を実施・検討中とあるが、第2回の検討会と同時に進行していかないといけないのではないのでしょうか。遺跡の条件によって、計画も大きく変わってくる可能性があるため、調査の状況と踏まえながら検討することが重要ではないかと思えます。

事務局：我々も遺跡の状況を早く把握したい思いはありますが、文化財課と協議を進めた

結果、最速でこのようなスケジュールとなっています。グラウンドの一部など、構造物に当たらない場所からトレンチ調査を行い、発掘調査の目安を立てていく予定です。調査は1か所ずつ進めるため時間がかかりますが、現在のスケジュールが最も早い対応となっています。改築計画の検討が先に進み、文化財の上に建つ計画になってしまうことがないように、すり合わせを行いながら検討を進めていきたいと考えています。

委員：過去の事例を参考にするという話がありましたが、見付地区は2万4千人の人がおり、遠州森町の1万6千人の約2倍と、規模が大きく異なると思います。見付交流センターには利用者や利用団体が数多くいるため、学校関係者のアンケートのみだけでなく、利用団体の意見を聞いていただきたいと思います。現在も、放課後児童クラブで午後3時から5時まで2番目に大きい部屋が使用されているものの、それ以外の時間は使われていないなど、利用されていない部屋が複数ある実態もあるため、利用者の意見を聞く必要があるのではないかと思います。十分に意見が反映されない場合、後々波紋を残す可能性もあるため、十分に配慮していただきたいと思います。

事務局：団体に、どのような形で意見を聴取するとよいか、こちらでも検討します。

委員：磐田市内には、ながふじ学府・向陽学府の先行事例があり、両学府においても同様に検討会が設けられていたと思いますが、市や地域の方を含めて検討する中で、こうした方がよかったという反省点もあるのではないかと思います。そのような意見を参考にしながら進めることも一つの方法であるため、そのような意見を共有する場について検討していただきたいと思います。また、見付交流センターを利用する団体や利用者はもちろんですが、それ以外の地域住民の方も巻き込んでいけるような進め方を検討していただきたいと思います。地域住民へ情報発信を行い、検討会がどのように進んでいるのかを知ってもらえるように進めていただきたいと思います。

事務局：意見交換会の開催について、事務局で確認します。地域住民の方にもアンケートやワークショップに参加していただきながら進めていきたいと思っています。ながふじ学府・向陽学府でも行っていましたが、今回も瓦版で検討会の状況をお知らせする予定です。瓦版は、完成後に検討会で確認していただいた上で配布します。

委員：委員会の任期については、基本構想・基本計画のまとめの令和9年度12月まででしようか。

事務局：その通りです。

委員：磐田北小学校に赴任して2年の中で、本校が150年の歴史の中で夢と志を脈々と受

け継いできたことを実感しています。その夢と志を育む拠点が学校ではないかと考え、そのことを自覚しながら学校経営を進めていきたいと思っています。現在、学校教育目標として「憧れ」を掲げていますが、夢と志がつながりながら子どもたちを育成していきたいと考えています。その一つとして、昨年度からコミュニティ・スクールの学校運営協議会において、子どもとともにより良い学校・地域を考えていこうという会議を行っています。学校運営協議会の皆様が子どもたちの声を正面から受け止め、それを実現していこうと取り組んでいただいています。そこで、その一環として、ワークショップだけでなく、子どもたちの言葉も反映していただきたいと考えています。職員との協議は必要ですが、総合的な学習の時間などで案や意見を出してもらえればと思います。可能であれば、まず何を感じるかが学びのスタートになると思うため、子どもたちがながふじ学府・向陽学府を見学できる機会があるとよいと思います。バスなどの費用が掛かるため難しい面もあると思いますが、検討をお願いしたいと思います。また、新しい学校がスタートするまでの間は、今学んでいる子どもたちや教職員のためにも、できる限り既存の学校がより良い学校となるよう支援を続けていただきたいと思います。

事務局：子どもたちの意見は、ぜひ反映していきたいと考えています。見学についても、どの程度実施できるか検討します。老朽化については、磐田北小に限らず各学校で毎年修繕箇所が増えており、少しずつではありますが、可能な範囲で改善を行っている状況です。

委員：保護者や教職員等のワークショップが2回予定されていますが、現在、参観会後の懇談会でも保護者の参加がクラスで1名程度という状況です。そのため、ワークショップに保護者が参加するかどうか分からない面もあるため、その点について工夫していただけるとよいと思います。

事務局：検討いたします。

委員：委員へのご提案です。旧見付小学校は、住民の方々によって建てられたという歴史があります。地域で何とかするという意識を持っていただくため、募金活動を行ってはどうかと思います。自治会長が中心になるとは思いますが、自覚を持って良い学校・交流センターを建てよう、より良いものにするために資金を集めていこうという方向に進められたらよいと思います。

委員：例えば「このような学校にしたいが、予算的に厳しい場合どうするか」という話が出てきたときに、自分たちに何ができるかを考え、地域で募金を行うという形でなければ協力しにくい面もあると思います。そのためにも、少しずつ具体的な内容を、私たちが地域の方に提案できるようにしていくことが重要だと思います。

委員：地域だけでなく、当然学校側、PTA側でもそういうことをやっていくのは大事だと思います。見付天神の屋根を張り替えた際には、寄付した方に手提げを配布した。子どもたちが喜んでいたり、誇らしげに手提げを持っていたのが印象的でした。今回もそういう形で行うことで、寄付が集まりやすい環境ができるのではないかと思います。

委員：議事録は公開されるのでしょうか。

事務局：議事録は原則公開記録です。次回の検討委員会前の資料配布時に、議事録も併せて配布します。

(10) 複合化について

事務局より説明。

<質疑応答>

会長：何か質問やご意見があればお願いします。

委員：公共施設については意見交換会を行っていると思いますが、どのような意見が出ていますか。

事務局：地域からは、それぞれのお立場で意見をいただいています。また、複合化以前に小中一貫教育が必要かどうかといった点から始まり、今後どのような考え方で学校施設を改修していくのかといった意見が最も多かったと思います。また、体育館の空調などの具体的な個別意見も多く、複合化に当たって具体的な提案にまでは至っていないというのが私の感覚です。現状や方向性をご理解いただく中で、少しずつ学校施設と公共施設の複合化について理解を深めていただきたいと感じています。また、今回、皆様のお立場から子どもたちのことを考えた上で提案をいただいていることは、大変ありがたいと感じています。今回、磐田市では学校施設と見付交流センターの複合化に取り組む形になります。個人的には、この複合化はコミュニティ・スクールを進めていく上でも、子どもたちが日頃から地域の方々と関わるることができる仕組みとして親和性が高いと考えています。お互いにとって何がよいのかという点も含め、先進事例を参考にしながら進めていきたいと考えています。

委員：見付交流センター以外の施設についても、複合化の検討に入っているのでしょうか。

事務局：調理場や放課後児童クラブは当たり前にはなっているが、周辺の施設も含めて検討していく予定です。

(11) 連絡事項

最後に連絡事項を2点お願いいたします。

1点目は、次回以降の開催日時についてです。本日は、日曜日の午前中に開催させていただきました。多様性の時代において、働き方、個人の事情、休日などが異なるため、全員が一堂に会する会議の開催はますます難しくなっています。今後の参考に開催日時のご希望等ありましたら、お願いいたします。また、検討会資料も可能な限り事前に配布して、資料読み込み時間を削減し、活発な議論に時間を割けるようにしたいと考えております。

委員：子どもが幼稚園・小学校に通っている平日の昼間を希望する。

委員：平日の昼間は参加が厳しい。

事務局：検討します。

2点目は、本日お配りした「向陽学府小中一体校パンフレット」についてです。現在、4月1日の開校に向けた準備のため、開校後、落ち着いたところで、見学会を予定したいと考えています。よろしくお願いいたします。

以上